

会 議 録 要 旨

会 議 名		平成28年度 第1回藤沢市下水道運営審議会
開 催 日 時		2016年(平成28年)4月26日(火)午前10時30分～午前11時45分
開 催 場 所		藤沢商工会館ミナパーク502会議室
		傍聴者数
		0人
出 席 者	会 長	山崎 仁
	委 員	井上 美鈴・菊田 稔・高木 きみ子・田中 輝子・ 永島 柳子・布川 晃・山口 耀子
	事 務 局	田代部長 土木計画課：鈴木参事・平本補佐・工藤専任補佐・小野寺・ 小川・村田・吉原・三澤 下水道整備課：張ヶ谷課長・毛利補佐・坪井補佐 下水道施設課：浅場参事・真間主幹 浅井辻堂浄化センター長・中丸補佐 加藤大清水浄化センター長・一ノ瀬補佐 土木維持課：北村参事・平田主幹・鈴木専任補佐 下水道業務課：広田参事・齋藤主幹・山本補佐
議題及び公開・ 非公開の別		<p>1 藤沢市下水道使用料の見直しについて</p> <p>(1) 下水道使用料の見直しについて(諮問)</p> <p>(2) 平成23年度下水道使用料改定以降の状況について</p> <p>2 平成28年度藤沢市下水道事業運営について</p> <p>(1) 藤沢市下水道事業予算の概要</p> <p>(2) 下水道事業費特別会計予算</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 下水道PR事業について</p> <p style="text-align: right;">(すべて公開)</p>
非公開の理由		
審議等の概要		<p>1 藤沢市下水道使用料の見直しについて</p> <p>(1) 下水道使用料の見直しについて(諮問)</p> <p>鈴木市長から藤沢市下水道運営審議会へ「藤沢市下水道使用料の見直し」について諮問。</p> <p>(2) 平成23年度下水道使用料改定以降の状況について</p> <p>使用料の見直しにあたって、平成23年度の使用料改定後の収支状況がどうであったかを報告。</p> <p>平成23年度以降は福島原子力発電所事故由来の放射能関連費用が生じており、本来の事業運営が見えにくくなっているため、放射能関連費を除いた収支を説明。平成24年度を除き、平成27年度見込みまでは利益が出ている状況である。また、下水道施設整備修繕計画については、おおむね計画どおりの施設修繕をおこなうことができている。(92%の整備終了)</p> <p>質疑</p> <p>①放射能関連費の金額は、厳密に原価計算に基づいて算出しているのか。それとも大局的見地から算出しているのか。</p> <p>《回答》委託料、手数料、工事請負費、修繕費など、実際にかかった費用を計上しています。なお、震災前にかかっていた費用を控除して請求しています。</p> <p>②職員等の人件費は請求しているのか。</p> <p>《回答》人件費に対する考え方は東京電力から示されているところです。例えば、請求事務にかかった人件費が認められるのは難しいのですが、職員が直接焼却灰を運んだりする等作業を行うことにより時間外勤務が発生したとなれば、認められると聞いております。</p> <p>③次回の審議会で、今後の方向性について資料が出てくるのか。</p> <p>《回答》今回は実績報告で、次回の審議会で今後について説明する予定です。</p>

<p>審議等の概要</p>	<p>④資料4ページ⑥支出の表で、「ポンプ場」と「浄化センター費」が赤字になっているが何故か。 《回答》この2種類の費用に関しては、放射能関連費が影響している科目になっているため、赤字にしています。</p> <p>2 平成28年度藤沢市下水道事業運営について (1) 藤沢市下水道事業予算の概要 (2) 下水道事業費特別会計予算 (1) として、平成28年度に実施する事業の概要と全体計画の概要を、 (2) として、平成28年度予算と平成27年度予算を比較して主なものの増減理由を一括で説明。</p> <p>3 その他 (1) 下水道PR事業について ・例年6月に開催している「下水道フェア」は、会場となる大清水浄化センター管理棟の耐震補強工事を実施することにより、安全性が確保できないため今年度は中止となる。そのかわり、11月の環境フェアへの出店内容をより充実させて、PRに努めていきたい旨説明。 ・下水道マスコットキャラクターの名称決定については、下水道の日の街頭キャンペーンか環境フェアでの実施を検討中。 ・神奈川県下水道公社主催の作品コンクールにおいて、本市からポスターと書道部門で各1名が入賞したことを報告。</p>
<p>その他</p>	